パンは 開花亭 平市五丁目 電三四之

きものと帯の御用命は
かみや
平市二丁目電256

三和新報

THE SANWASHIMPO

6月23日 (木曜日)
第350號 (昭和29年6月17日第三種郵便物認可)
日刊(日曜・祝・祭日を除く) 購読料 1カ月 50円
発行所 三和新報社 平市六丁目 電472番

木材の百貨店
一般建築材・建具材
ベニヤ板類・銘木・秋田杉
津島松・木そ桧・ラワン材
米杉・車輌材・枕木・電柱
丸一材木店
工場 平市禰宜町電556
平市五丁目電290

盗んで貯金十六万円 悲願はやがて文化住宅 平名物ガンガラ乞食捕る

乞食とコソ泥で稼ぎためたゼンコで鉄筋コンクリート建の文化住宅をつくろうと悲願をたてた男が二十二日ヒルごろ常磐市湯本町三函惣善寺境内の防空壕で平署員に捕つた。男は通称ガンガラ乞食と呼ばれる安達郡石井村西原生れ住居不定前科三犯無職菅野勇雄(四七)で捕まつたときにはコツコツと積立てた十六萬円の郵便貯金をもつていた。

表向きの逮捕理由は昨年の暮平市紺屋町製めん業馬目智夫さん(三三)方からゴム引作業用前かけ二枚と同市才槌小路洋品商緑川佳一さん(四九)方からゴム長靴二足を盗んだ疑いだけだが、その蔭にはこんな悲願の哀々行が秘められている

ガンガラは水呑百姓の子伜として小さい時から貧乏のドン底で育つた「一生けんめい働いてゼンコをためよう」…これが当時のガンガラの夢だつた。終戦のとしガンガラはバタ屋に転向しようと勇躍上京、上野の地下道でセツセとゼンコをためた。二十萬円たまつたある日、ガンガラは悪い建築ブローカーの口車に乗せられて虎の子の二十萬円をスツカラカンにまきあげられてしまつた。「畜生、真面目に働いてためた俺のゼンコ、あゝもうダメだ。クソ俺も悪いことをしてやるぞ」—こうしてガンガラは正直者がバカをみたヤケクソが原因で悪の道への第一歩を踏みだした。

あとはお定まりのコースで転々と流浪の旅を続け二十三年三月磐城市内の防空ごうに住みついて乞食をはじめた。"乞食三日すりややめられネエ"のたとえでガンガラは断然乞食が好きになつた。

"宿るなら大木の下"こんな欲望を起して平市へ転居したのは赤井オロシの吹き初めるころで才槌小路新田目病院ウラの横穴式防空ごうをネグラに決めた。軒下に立つて物乞いするのが何んでもなくなるとガンガラの胸には大きな希望がわいた。

「ヨシ、もう一度ゼンコをためて鉄筋コンクリートの文化住宅を建ててやろう」よこしまな悲願を立てて金色夜叉と化したガンガラはこれを契機として生活態度をガラリと変え衣食住はテツテイ的にきりつめた。まず衣はワカメのようなボロをまとつて間にあわせ、食は墓地から墓地を廻つてジャンポンの供物をパクついた。住は防空ごうを改装した。そして俺のものは俺のもの、他人のものも俺のものというふうにアタマを切り替えた。こうなると道路に置いてあるリヤカーや荷車もわがものに見えて自然に手が伸びた。物干ザオの洗たくものを空中拾得物とこじつけて黙つて頂戴したこともあつた。その他空ビンでゴザレ空箱でゴザレ道ばたにあるものは天の恵みとばかり何でも頂いた。時には古物屋から盗んで古物屋に売つたりもした。三回ほどケイサツのやつかいになつたがシャム米ほどのシラミとアセがごつちやになつたスツパイような体臭のおかげで身柄送検をまぬかれてその都度釈放された。

盗んでためたゼンコでもチリも積つて山を築き二萬、三萬とまとまつていつた。紺屋町郵便局に定額で十一萬三千円。普通で四萬七千円を貯金して一躍ガンガラの男をあげた。「ウンと貯金ができたら文化住宅を建てて故郷に残してきた妻子四人を呼び寄せよう」…これがガンガラのせめてもの親心だつたのである。—はかなく消えた悪夢を追うように今、ガンガラは留置場の片隅でモソモソとシラミを追いながら過去を追憶している。

平署の話=今までは乞食だというので大目に見ていたが、今度はカンベンできない、ガンガラは「総て盗んだのではない、黙つて拾つたまでだ」とガンバつている。

紺屋町郵便局の話=ガンガラさんが貯金をはじめたのは四年ほど前からで二百円、三百円とコツコツ積立てていた。最近はあまり姿を見せないようになつた

護送犯人 列車から飛降り逃走

護送犯人が進行中の列車から飛降り逃走した事件があつた。二十二日午後五時十五分ごろ常磐線上り湯本—泉間で勿来署員に護送されていた常磐市笠井少年A(一七)が"便所にいきたい"と訴えたので手錠をはずし署員が便所までついていつたところAは中からカギをかけ窓から飛降りて逃走した。ただちに近接各署で捜査をはじめたが二十三日午後二時磐城市内で勿来署員に捕つた。

Aは平の少年B(一九)とともに、昨年の四月から今年の五月ごろまでの間に平、常磐勿来の商店街を荒し廻わつて二十数件のせつ盗を働らいたがさる二十日勿来署につかまり二十二日Bとともに平地検で取調べをうけその帰路に逃走したもの。

板の間男御用

常磐市湯本字栄田三窃盗詐欺前科二犯土工新妻勝美(三八)は二十二日午後十時半ごろ同市三函七〇公衆浴場鈴木昭愛さん方の脱衣場から入浴中の同市三函五七呉服商大和田直秋さん(三八)の純毛ジャンバーワイシャツなど六千円相当を盗み現行犯で常磐署に捕まり二十三日身柄送検された。

オート追突

常磐市役所運転手大内健次(三三)は二十二日午後一時ごろ市内笠井一地内の県道をオートバイで疾走中自転車に乗つて走つてきた同市藤原字湯の岳三農佐伯栄次郎さん(三〇)をはねとばし右腕に軽傷を負わせたが自転車は大破。

合理化派反対職場大会 古河労組

古河好間炭鉱労組では二十三日午後一時から着到前で石炭合理化法案反対の職場大会をひらき「合理化法に反対し断固斗う」旨の決議文を採択、炭労本部に送つた。

俳優座、今晩六時 公演

石城地区高校演劇連盟主催、尼子会後援の俳優座による「夜の来訪者」三幕は今夕六時から平市公会堂で公演される。俳優座の平公演は初めてなので盛況が予想される

窃盗少年二人組

内郷市高坂町三本杉一中二年生某少年二名(いずれも十四)は去る一月九日同町日雇牛沢コンさん(五三)方から衣類五点四千円相当を盗んだ疑いで二十二日内郷署に捕まつたがこの二少年は昨年八月ごろから六月二十日ごろまでの間に近隣の炭鉱住宅から二十四回にわたり現金、米など一萬二千円相当の盗みを働き米や衣類は売りとばして現金にかえ映画や買食いに使つていたことを自供しており日雇をしている両親が放任的なので悪の道に転落したのではないかといわれている。

夏まつり豪華商店ショウ
七月三日盛大に開幕
全国初の独創的催し

本社では本紙創刊一周年を記念し、「夏まつり豪華商店ショウ」を開催することになりました。この催しは当地方の会社団体、有名商店の参加による芸能と宣傳の豪華なヴアラエテイであり全国初の催しとして舞台芸術に一新紀元を劃するモデルケースたるを自負、敢えて当地方の商、工業界に捧げる独創企劃であります。具体的な内容については連日本紙上に発表いたします。何卒、各位の御支援と御期待をお願いします

とき 七月三日(日)晝夜二回
ところ 平市公会堂 本館

主催 三和新報社
後援 平市役所 常磐炭鉱

盛夏の市 盛高屋で

平夏まつりにさきがけて本社が放つ豪華商店ショーに呼応して東北一の既製服の店、平市三丁目の盛高屋では二十五日から三十日までの六日間、値より品質奉仕の画期的"盛夏の市"をひらき五百円お買上げごとに本社主催の「夏まつり商店ショー」無料入場券一枚を配る。盛夏の市には季節用品、はだ着、替ズボン、ブラウス、ワイシャツなど二萬点が出品される。

婦人服展示即売会 三和婦人服

平市銀座婦人服専門店三和(みつわ)婦人服店では二十四日から二十六日まで三日間ブラウス、ワンピースなどの今夏流行品の展示即売会を行う。

古河に落雷

二十二日午後三時五十分ごろ好間村小館北区地内の古河好間炭鉱専用高圧線電柱に落雷。同地区の一部分が停電したほか被害はなく約三十分で復旧した。

鈴勘荒さる ズボン、背広など六十四点

各地に商店荒しがひんぴんとして発生しているおりから二十二日夜またも平市に大胆不敵な怪盗が出没、平署を緊張させている。

二十三日朝平市一丁目既製服店鈴木勘治さん(三八)方の店舗がめちゃめちゃに荒されているのを店員がみつけ平署に届出た。大内捜査係長、生亀探偵長らが現場に急行して調べたところ賊は雨戸をはずしてからガラス戸をドライバーで破りそこから手を入れカギをはずし店内に侵入ズボン五十一着(十七萬円相当)上衣背広十二着(五萬円相当)バーバリレインコート一着(三千六百円相当)計二十二萬三千五百円相当を盗んで逃走したものだが盗品の重さが十一貫メもあること、こじあけた雨戸を外からみえないように向いの森下商店から商品陳列台をもつてきて覆いかぶせておいた点などから商店荒し常習のしかも二人組の仕業とみられている。

鈴木勘治さんの話=午前一時ごろガラスが落ちたような音がしたが奥の二階に寝ているので気づかなかつた。盗まれたものは外から近いところにあるものばかりです。重いのですから一人の犯行とは思えませんね。

吉田君優勝 片浜廻り自転車競走

平自転車商組合主催の第三回片浜廻り素人足自慢実用車競走は快晴に恵まれた二十三日午後一時ランニングシャツにパンツの参加選手七十五名が平市三十メートル南端広場を一斉にスタート内郷—湯本—小名浜—永崎—中の作—江名—豊間—薄磯—沼の内—高久—夏井—草野—神谷—平三十メートル通り決勝点まで全コース五十キロを抜きつ抜かれつの熱戦を展開したが結局吉田功(一八)選手(平鎌田)が一時間廿九分五十四秒で輝やく優勝、市長杯及賞金五千円を獲得

藤原公民館開館

常磐市藤原公民館の開館式は二十四日午後一時から行う。同公民館は三十年度になり磐崎公民館から分離し独立運営を行うことになつたもので青年運動が活発な部落だけに期待されている。

ミシンはハリビイ 緑の小山で

移転お知らせ
このたび道路拡張工事のため左記へ移転いたしましたのでお知らせいたします。相変らず宜しくお願い致します。
電話一本で参上いたします。
(新) 平市北目町一三〇
電話は従来通り五八三番です
瀧川電気工業所
瀧川保夫

急告!
夏まつり豪華商店ショウに際し、弊店では
ハワイアンギターボーイズ
ご歌つて 歌つて 歌いまくる会
を皆さまにお贈りします。
何とぞ、皆様の絶大なる御支援を願います

実用と流行のカバンの店
ぎんざ ヨシダ

性病科 皮膚病科
平市古鍛冶町(県社下)
矢吹医院
電話一、一九三番

書籍と文房具
ヤマニ書房
平駅前 電七七七

湯本よいとこ温泉美人気投票

現在22日

シメ香トップへ
信子、トシ子、サダ子進出

湯の街の花、湯本の名妓、いずれがあやめ、かきつばたーお客筋や後援会も次第に活気づいて人気は最高潮に達している。

第一部はメ香がトップに進出、勝利がこの後を追い、松の家のぼたんが急進出した。

第二部ではモナミの初枝のトップゆるがず北京亭の信子、岩惣のトミ子、こいとのサダ子などが猛烈な進出ぶりをみせている。

第一部

一五一五	湯の香	メ香
一四八一	つた本	勝利
一三二一	翠月	月太郎
一二八九	とどろき	けい子
一〇〇八	湯の香	まねぎ
九九一	鈴本	鈴、代
九六一	松の家	ぼたん
九三八	千代鶴	寿
八五九	湯の香	すみれ
八四三	美ね本	千成
八一四	久の家	ひな子
七一八	磯の家	文代
六一四	いく本	喜美丸

第二部

二一六一	モナミ	初枝
一六三一	山形屋	千代子
一五二一	北京亭	信子
一四一八	岩惣	トシ子
一二六三	こいと	サダ子
一一一八	モナミ	京子
一〇四四	三平	時子
一〇三一	美里	キヨ子
八九一	らんぷ	ユリ子
七九一	美津和	ミツ子
七〇四	山形屋	豊子
七〇一	ひさご	桃子
六五八	伊勢屋	春子
六五二	静枝	静枝
六一五	ひさご	夏子
六〇一	緑屋	初枝
五一二	松しま	スミ子
四八三	伊勢屋	元子
三二五	緑屋	スエ子

百合子の「伸子」
私の読書

常磐市役所　高田稔

宮本百合子の「伸子」は私の枕頭の書です。この小説は伸子の恋愛結婚、その破綻を自覚史的に描いております。伸子はまだ若い闘秀作家で著名な建築家の父と一緒にニューヨークにきて比較言語学を研究している佃と知りあいます。インフルエンザにかかった父の看病疲れからか伸子は病気にかかり佃に介抱され夢ううつの間をさまよっているとき接吻されます。「伸子は体ちゆうに新たな戦慄を感じながら再び気を失い乍ら佃の頸に両腕を巻きつけ彼の唇に自分の唇を押しつけた」というところから二人の恋愛がはじまります。伸子は女教師のミス・ブラウスに佃が評判の悪い青年であることを聞き自己の人生を建設する意欲のない無気力なインテリーかと批判しながらも二人が助けあつて「豊富に広く雄々しく伸びる」ために自分の意志を燃え移らせようと固く心に誓つて結婚します。伸子は自己に対する無限の期待をもつて結婚したので主体的生活の確立への喜びにあふれています。「元気で快活で交際上手なバラ色の青年はどうしても好きになれない。人間の苦しさを抜けてきた人でなくてはつまらぬ。暗いところ悲しいところ、そこも知つているが立派な明るさ晴々しさそこもわかる」人を伸子はのぞんでいたワケです。さて伸子は一歩先に帰国します。そして新しい生活設計を準備しようとするのですが待ちもうけていたものは小ブルジョア的な家庭の打算と功利的な通当でした。母の多計代は名誉も財産もない佃と結婚したのを不満に思つておる娘に奥様然とした習俗をすすめ良家の娘らしい生活をさせたかつたのです。伸子は息苦しい家を離れ帰国してきた佃を迎えますが佃は伸子が期待したような激しい生活建設はおろかありきたりの夫婦生活に甘んじたいような煮えきらない男性だつたのです。

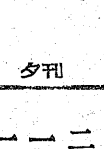
平安な事勿れ主義的で積極的な反抗心もなく自分を貫くとともに逞しく伸子を守つて斗い生きる情熱がなくひたすら漠然とした安心を求め封建的な偏見と斗う伸子を内から支えてやるような活動的な意義の持主ではなかつたのです。伸子は結婚してしまうと人生の或るゴールにたつしたように落着いてしまい世間とたわいもなく調和し身近な幸福におぼれてしまうようなあさはかな女性ではなく冷静な頭脳としなやかな理智をもつた意志の強い剛健な女性でした。「あなたは伸子でなくとも所謂細君であるなら誰でもよいのです」とまで絶叫し無気力なじめじめした生活からの訣別によつてしか自分らしい真の生活は確保できないというところまで追いつめられてしまうのです。私は「伸子」をよむたび切迫した人間的なもだえに心うたれ信頼と敬愛といたわりのある生活からはじめて逞しい力がほとばしつてくるのではないかと信じています。新憲法は女性の解放をうたつていますがどれだけそれが実現したかを考えるときやはり女性は隷属的な無気力なあきらめを自主的にしりぞけ敢然として自己の生活を実現してゆかなければならないのではないかと思う。そういう意味でも「伸子」は無限のはげましになるのではないのか。

今夜の映画

◇聚楽館（二二一二八）男ありて三人の狙撃者（六、五〇）
◇世界館（二二一八）火牛坂の悪鬼　娘の縁談（六、五八）
◇平　館（二二一二八）落日の血闘　奥様多忙（七、〇〇）
◇ひかり座（二二一二七）日本特攻隊　現金に手を出すな（七、一五）
◇民　劇（二二一二六）欲望の砂漠　赤い山（六、五六）
◇第二いわき（二一一二四）火の車お篤　母を尋ねて幾山河（六、三〇）
◇綴映劇（二二一二五）のんき裁判　天城颪（七、〇〇）

①映画題名は上映順
②上映時間は夜の部

防空壕じやござんせん



○…常磐署の巡査さん方が玄関入口にせつせと穴を二つほつているのでまさか今頃防空壕でもなかろうと思つていたところエンヤラサとかついできたのは大きな榛相だつた。たちまち二本植えつけられ葉ずれの音がたちはじめたので「これで少しは涼しくなつべ」とニツコリした巡査さん方は汗ダクダク。

へへのんきだネエ

○…スポーツ所長を自負する石城失対事業所の高木所長がゴルフをはじめた。「バットはこう握つて」「腰はこうひねつて」しかる後に「ボカーンとボールをヒツパタク」と御講義は堂々たるものだがサテ腕前の程は？「私しや知らないバツトに聞いとくれエ」とはへへのんきだネエ。

突差のウソ

○…病床の課長を問疫三人と見舞つたときのこと、課長の奥さんがお茶菓子をはさんだのでテツキリ俺にと思つて手を出したらその菓子は隣りのA君に行つてしまつたハツと思つて手を引つこめようとしたがバツが悪くて顔がホテつた窮差に俺は「最近手相が変つたような気がしてネ」といつてゴマ化した。ウソも方便タアこのことだと思つた。

焼酎で手を焼く

○…暑気払いとかけて妾焼ちゆうを飲んでケンカするアンちやんがみえ内郷署員は手をやいている。相手が酔つぱらいだから説教しても話が通じず、それかといつて殴るワケにもいかず酔虎の舞を眺めるだけ。「チユウは程々に飲んでくれつとコボスことコボスこと

旅の思い出

落した花

交通公社平案内所勤務　鈴木武

北海道S市の所用を終えH張所のAに見送られて発車までの僅な時間を語り合つていた。H張の多い私も北海道は初めての旅であつたせいか、S市の雰囲気は若いながら至極現実的な私にも、見送るAが美しく若い御婦人であつたらなどと珍らしくロマンチックな気持を起さしていた。と突然甘い夢を破つて発車ベルが鳴りひびき、ふと気がつくと二三輌先の方から鈴蘭をうる花売娘の美しく澄んだ声がベルの音を縫つて聞えて来た。私は何かにとりつかれた様に大声で体を乗り出し手を振つた。いや全身全霊で声をかけたといつた方が適切かも知れない。それは丁度逃げる幸福を夢中で追いかけでもする様に……

しかし列車は私の気持などにおかまいなく動き出し、やつとのことで花を手にした、と思つたとたん鈴蘭の花束を落してしまつた。呆然としてグツタリと腰を落した私には、も早手を振つてくれたAの姿など全く眼中になかつた。しかし私の眼底には、次第次第にピントが合つて来る様に、花束を手渡そうと、車に追いすがつた花売娘の真摯な、円らな瞳、一本一本の指が美しい生物の様に動いた美しい手、速度を増した車にどうしようもなく何かロを動かした困り果てた様な顔が生々とよみがえつて来た。私は取り返しがつかない大切な物を落した後の様な深い空虚を感じた。それから数日の後、私は生れて初めて女文字の封筒を手にした。ふつくらした封筒からは微な香をただよわして白紙に丁寧に包まれた三本の見事な鈴蘭の押花が出て来た。あの時の花売娘がAから住所をきいて送つてくれたのであろうか。「S駅より」とだけ書いてある白紙は何も語つてはくれない。が、私の胸はすつかり幸福感に満ちあふれ「これでいいんだ」「これでいいんだ」と私は只わけもなく何べんも何べんも独り言を繰り返したのであつた。

湯本温泉美人投票用紙

屋号	氏名

三和新報

字はハツキリ書いて下さい。

宴会場落成

お座敷も増築いたしました

☆大小御宴会にご利用下さいませ
☆御予算如何ようにもご相談に応じます

割主時俗

平市三田小路　電736

今夏の流行品
展示即売會

ブラウス
ワンピース

自 6月24日
至 6月26日　3日間

場所　平市銀座通り
於　三和婦人服

是非一度御覧下さい

26日まで　夏物品揃い　お節句　大売出し

50圓 55圓 60圓 65 圓 70圓 80圓

サロン前掛・金魚ズロース・エベツク子供ズロース・子供Tシヤツ・スリーマー・婦人メリヤスズロース・婦人パンテイ・婦人布帛ズロース・婦人スリーマー・婦人女性着・大人ランニング大人Tシヤツ・婦人布帛シミーズ・大人ステヽコ

お買徳肌着

超サービス品　ほんの一例

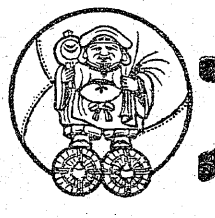
大人パンツ	40円
ハンカチーフ(ソフト16吋)5枚一組	100円
タオル半打一組	50円
半袖開衿シヤツ(白キヤラコ)	195円
ブロードカツター	380円
学童袴(綿)	200円
紳士袴(〃)	290円
晴雨兼甲袴	495円
新柄MKプリント	50円
新柄40ブロードプリント(36吋巾)	95円
新柄リツプルプリント	85円
極上白格子	150円
色縞ゆかた	150円
男物夏染ゆかた	260円
大判レース袖口	60円
本染ゆかた(差分)	380円
〃(細川)	500円
〃(一色)	500円
40色ブロード(並巾)	80円
白40サンフオライズ(カネボウ)(36吋巾)	95円

奉仕品続々差加え御提供申上げております

特価品の一例

極上子供ズボン…(平母店)……100円
子供上衣
綿半袖婦人ブラウス(ブロード)…250円
極上学童半ズボン…(平母店)……130円

◎海水着第一回陳列発表会……(平母店)
◎夏の婦人 子供服 陳列会



皆様の利益を護る店
大黒屋

平母店・平本店・内郷店
常磐店・磐城店

衣料の連鎖店　這入りよい　よい品　安い大黒屋